

## 令和3年度市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：中山間地域における課題解決に向けての情報交換について

<b>【日 時】</b> 令和3年11月17日（水） 18時30分 ～ 19時30分
<b>【出席者】</b> ○篠崎市長 ○（参加者6名） 北翔六星メンバー ガルデン・ラ・ヴァンヴェール オーナーシェフ： 戎谷 孝之 楠むらづくり株式会社 役員： 河村 美弥子 株式会社永山本家酒造場 代表取締役社長： 永山 貴博 エールラポール 店長： 柳 ちえみ kitchen846（うべ.com） CEO： 八代谷 寿子 おやじの会 厚東地区若手代表： 原野 大助 ○北部地域振興課長 ○事務局（広報広聴課）
<b>【概 要】</b> 1 開会 2 市長あいさつ 3 参加者自己紹介 4 開催目的説明 5 意見交換・懇談 6 閉会
<b>【意見交換・懇談】</b>
<b>○ うべの里ハウス・隣の元診療所をゲストハウスとして活用することについて</b> <b>【kitchen846（うべ.com） CEO】</b> ・うべの里ハウスで、県事業等を活用して関係人口増加の取り組みを行ってきた。吉部地区は高齢者が多く、地域の担い手が少ない。少しでも若い人に来てほしい。いきなり移住するのはハードルが高いので、まずは知ってもらうために関係人口増加に取り組んでいる。 ・北部には宿泊施設がない。様々な体験をして北部の良さを知ってもらうために、うべの里ハウス・隣の元診療所を長期滞在できるゲストハウスとして活用してはどうか。
<b>【市長】</b> ・移住定住を推進するために、関係人口の増加は必須である。関係人口増加の取り組みを進めていきたい。 ・うべの里ハウスをゲストハウスとして活用するためには、旅館業許可の要件を満たす整備が必要になる。隣の元診療所は建物が古いため、解体して、うべの里ハウスの駐車場として活用することも可能と思われる。状況を整理して活用方法を考えていきたい。

## ○ ときわ公園での北部フェスの開催について

【ガルデン・ラ・ヴァンヴェール オーナーシェフ】

- ・来年の北翔六星の活動テーマは「移住定住者の増加、特認校制度の活用による小学生の増加」である。そのためには、まずPRが大切だと考えている。
- ・特認校制度の推進のために、未就学児や小学生・その保護者等をターゲットにして、ときわ公園で北部各地区の良いところをPRする北部フェスを開催したい。
- ・北部フェスで一番見てほしいのは、北部地域の小学生の姿だ。小野小学校は全部で18人しか生徒がいないので、高学年の子どもたちは「下級生にいろいろなことを教える」ということが自然に身についている。未就学児の保護者等に、北部ではこんな風に子どもが育っているということを知ってほしい。

【市長】

- ・ぜひ北部フェスを開催してほしい。

## ○ 特認校制度の推進について

【市長】

- ・特認校制度については、他の市政懇談会で「もっと特認校制度をPRしてほしい。」という声が出たが、就学時前健診時等でPRしており、ある程度の方がこの制度を知っている。特認校制度を推進するための課題は通学である。皆さんの意見を聞きたい。

【ガルデン・ラ・ヴァンヴェール オーナーシェフ】

- ・バスで通学できる世帯をターゲットにして、バス料金を無料にしてはどうか。

【楠むらづくり株式会社 役員】

- ・バスで万倉小学校へ行くには、船木で行き先を間違えずに乗り換えなければいけない。小学校低学年の子には難しいと思う。

【ガルデン・ラ・ヴァンヴェール オーナーシェフ】

- ・そこは地域の協力が必要だと思う。例えば、小野地区では各部落に交通委員がいるので、依頼すれば協力してくれると思う。

【kitchen846(うべ.com) CEO】

- ・コミュニティバスの利用は難しいのか。

【楠むらづくり株式会社 役員】

- ・厚東小学校では1割程度が特認校制度を利用していると伺ったので、厚東小学校を特認校制度のモデル校に指定してはどうか。モデル校で特認校制度を利用した際のメリット・デメリットを開示し、そこから他の地区での特認校利用に波及できないか。

【ガルデン・ラ・ヴァンヴェール オーナーシェフ】

- ・ときわ公園で開催する予定の北部フェスで、特認校制度などもPRしていきたい。

【市長】

- ・モデル校指定について、北部地域全体で合意が取れれば市は動きやすい。

**【エールラポール 店長】**

- ・モデル校から他地区への波及効果を考えれば、合意も可能ではないか。

**【株式会社永山本家酒造場 代表取締役社長】**

- ・特認校が目標を設定し、マンモス校から希望を募ることはできないか。
- ・通学が不便な場所は、スクールバスを出すべきだと思う。

**【市長】**

- ・スクールバスについては、帰りの時間が学年によって違うので、学童・保護者等の協力が必要になる。また、国が定める特認校の利用条件等の壁もある。地元タクシー業者の協力等も確認して、入校希望者がいればスクールバスが出せる可能性について検討したい。

**【株式会社永山本家酒造場 代表取締役社長】**

- ・パソコン教育がとても充実している、英語の先生が常駐して授業は英語で行っているなど、学校ごとに特色を作る必要がある。

**【市長】**

- ・農業体験やビオトープなど、北部地域の自然を活用してはどうか。子どもたちに北部地域ならではの体験をさせることは、大事なポイントである。

**【ガルデン・ラ・ヴァンヴェール オーナーシェフ】**

- ・既に特色ある取り組みをしている学校はあるが、PRが不足している。

**【kitchen846(うべ.com) CEO】**

- ・特認校のPRについては、地区によって温度差がある。吉部小学校にはメディアが取材に来るほどの行事があるが、地域の方は「吉部まで来てくれないのでは」といった諦めの気持ちがある。来てくれる人は歓迎するが、自分達から積極的にPRするところまで至っていない。
- ・特認校のPRも必要だが、市内で人口を奪い合うのではなく、市外・県外からの移住も視野にいったPRが必要だと思う。ロコミなどの成功事例を提示すれば、地域も巻き込むことができる。

**【市長】**

- ・各地区に特徴があるので、北部地域の振興については戦略的に進めていく必要がある。
- ・市でもサテライトオフィスの取り組みを進めている。特に都会の方にとって、特認校は魅力的なのではないか。まずは関係人口になってもらえれば、移住定住にも繋がっていくと考える。

**○ 子ども向け職業体験イベントの開催について**

**【楠むらづくり株式会社 役員】**

- ・楠こもれびの郷の直売所で、万倉小学校で育てた野菜を小学生が販売した。子どもたちはこの体験がとても楽しかったようで、万倉小学校から秋野菜も販売したいと言われている。また、楠中学校から職業体験の受け入れもしている。
- ・異業種の集まりである北翔六星では様々な体験ができるので、北部地域で「子ども向

けの職業体験イベント」を開催したい。地域通貨を作成して、職業体験で働いた対価として地域通貨をもらい、イベント参加店で商品を購入できるようにしたら楽しいと思う。職業体験希望者・受入先との調整、地域通貨の換金手続き等については、事務局をどこかに委託したり、市と連携したりするなどして運営する必要がある。

#### 【市長】

- ・ 中学2年生を対象に、将来について考える機会を持ってもらうために、宇部市内にどのような仕事があるかを紹介する「みらいwalkers★UBE」を実施した。自分の特性や将来について考えることは、今後の人生を決める大きなポイントになる。北部地域で子ども向けの職業体験イベントを開催することは、北部地域で暮らすことを子どもたちに想像してもらうことにつながる。
- ・ 地域通貨等については、適切な運営方法等を検討していきたい。

### ○ 北部新聞について

#### 【ガルデン・ラ・ヴァンヴェール オーナーシェフ】

- ・ 四半期ごとに北部の各地区から、北部地域のイベントや地域の情報・問題点・提案などを募り、地域おこし協力隊の協力で北部新聞を作成して、市広報紙と一緒に市内全世帯に配布したい。
- ・ 来年度は、北部地域を知ってもらう活動に専念したい。

#### 【市長】

- ・ 市も協力したい。
- ・ 市広報紙の増ページを検討しており、毎月テーマを決めて、市の政策・事業の方向性を掲載し市民と共にまちづくりを進めていきたい。「北部振興」のテーマを取り上げる際は、皆さんの活動も紹介できたらと思う。

### ○ 地域おこし協力隊の増員について

#### 【楠むらづくり株式会社 役員】

- ・ 万農塾等で県外から研修生を3週間受け入れた。宇部に魅力を感じてくれた優秀な研修生もいたが、生活の基盤を確立できる見通しがないと宇部に来るのは困難だと思う。そういった人を宇部に呼ぶために地域おこし協力隊制度を活用できないか。

#### 【kitchen846(うべ.com) CEO】

- ・ 地域おこし協力隊制度は、若い人が宇部に来るためのきっかけとしてはいいと思う。
- ・ 私は、地域おこし協力隊として宇部に来て、その後起業に繋がった。しかし、私の後の代が続いていない。地域おこし協力隊を継続して定期的に受け入れないと、地域おこし協力隊の仲間がいなくなり、横の繋がりも途絶えてしまう。
- ・ 地域おこし協力隊を募集する際は、役割を明確にするとミスマッチがなくなると思う。また、市役所で面接するだけでなく、実際に受け入れる側と会って事前に相性を確認することも必要だと思う。
- ・ 今後も地域おこし協力隊存続のために協力していきたい。

**【市長】**

- ・ご意見を参考にしたい。目的を定めて、そのニーズに応えられる人に来てもらうことが大切である。様々なテーマごとに地域おこし協力隊の増員を進めていきたい。

**○ 放置自転車の活用について**

**【ガルデン・ラ・ヴァンヴェールオーナーシェフ】**

- ・放置自転車の市の活用状況はいかがか。

**【市長】**

- ・以前は放置自転車を活用していたが、所有権に抵触する恐れがあるので現在は行ってない。活用する場合は条例を整備する必要がある。

**【ガルデン・ラ・ヴァンヴェールオーナーシェフ】**

- ・放置自転車はレンタサイクルやシェアサイクルにも利用できるのではないか。北部地域は自転車で回ると気持ちがいい。

**○ 古い街並みの保存について**

**【エールラポール 店長】**

- ・地元の良さを地元の人にもっと知ってもらいたい。地元の人には当たり前のことでも、他の地域の人から見たら素晴らしいと思うことが沢山あると思う。

**【株式会社永山本家酒造場 代表取締役社長】**

- ・船木地区は旧山陽道に良いものが残っている。電線を地中に埋めたり、街並みを石畳にしたり、通行制限で交通量を減らしたりして、美観地区にしてはどうか。本宿（船木宿）は絶対に残さなければいけない。

**【ガルデン・ラ・ヴァンヴェールオーナーシェフ】**

- ・「千葉県流山市」の人口増加について、テレビ番組で取り上げられていた。駅前を新しくして、歴史のある古い街並みの外観は残し、中の設備等を新しく変えるという取り組みをしている。

**○ 他市との連携について**

**【ガルデン・ラ・ヴァンヴェールオーナーシェフ】**

- ・万倉で行うイベントで佐賀市のご当地グルメであるシシリアンライスを出すので、佐賀市の観光課に連絡した。宇部市での佐賀市の宣伝を北翔六星に任せてもらい、ゆくゆくは宇部市のPRのために、佐賀市のバルーンフェスタに北翔六星として出店することに繋がりたい。

**【市長】**

- ・ひとつの市町でできることは限られている。観光や交流人口については、エリア全体で考える必要があり、下関市などと連携を始めている。

**【楠むらづくり株式会社 役員】**

- ・楠むらづくり株式会社のお客さんをインターネットサービスで分析したところ、宇部

市、山陽小野田市、美祿市、山口市、下関市、北九州圏から来ていることが分かった。

**【市長】**

- ・下関、北九州は人口が多いので、秋吉台等に行くために宇部市を経由してもらうなども考えていくことが必要だ。

**【ガルデン・ラ・ヴァンヴェールオーナーシェフ】**

- ・美祿市の秋芳梨とのコラボの話もある。

**【kitchen846(うべ.com) CEO】**

- ・「11月23日の万倉でのイベントに山口市から無料バスがでるので行こうかな。」という声がある。北部の観光のために周遊バスなどがあると良い。

**○ 子どもがスポーツをする環境、保護者の地域活動への参加について**

**【おやじの会 厚東地区若手代表】**

- ・近隣の学校が連携して、どこの地区でも子どもがスポーツをすることができる環境が整うといいと思う。併せて、送迎の問題も考える必要がある。
- ・保護者が子ども会の活動に出ると、いろんな地域の行事に参加する機会が増えるので、地域を盛り上げようという人が増えていくと思う。

**【市長】**

- ・送迎については、AIを活用したシステムを検討していきたい。
- ・企業などにも協力を求め、保護者が地域活動等に参加しやすい仕組みを考えていく。

**【市長】**

- ・今日は課題を沢山いただき感謝している。これを進めていくには、市の職員だけでは限界がある。北翔六星と一緒にプレーヤーになっていただけていると思う。北部地域を活性化するためにこれからも力を貸していただきたい。
- ・空港があり都心部から近い強みを生かして、これからも新しい可能性に関する情報を率先して取得し、いろんな可能性にチャレンジしていきたい。